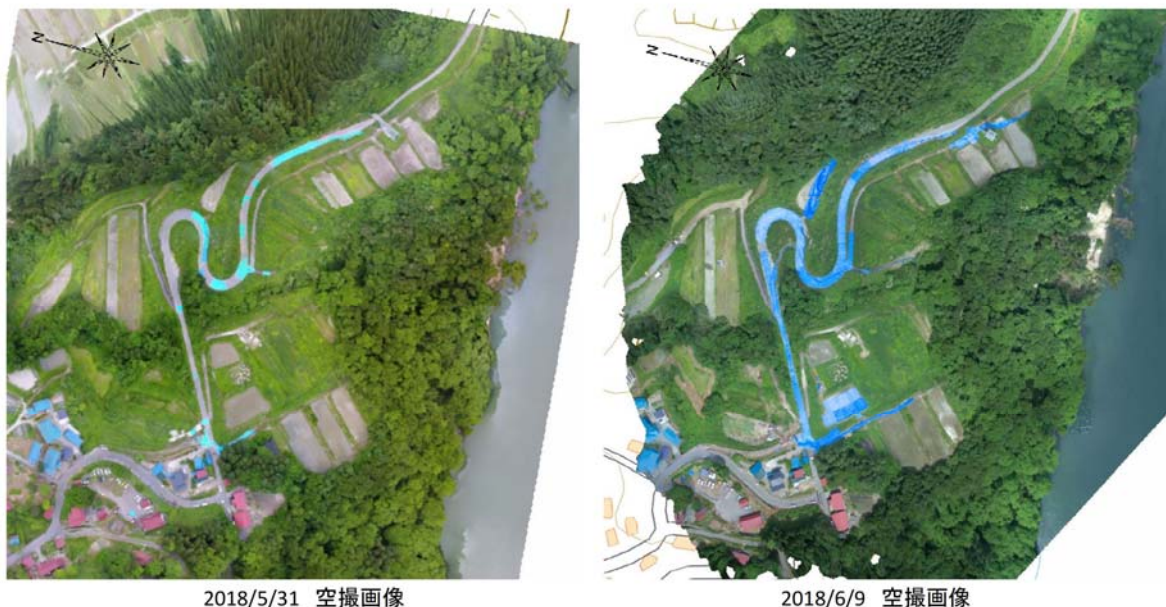


1. UAV 測量結果

前回調査時（5/31）との変化を捉えるための UAV 測量を行った。
空撮画像を以下に示す。



この空撮画像から、2時期（5月31日から6月9日間）の移動方向、移動量について検証を行った。
なお、解析手順は以下のとおりである。

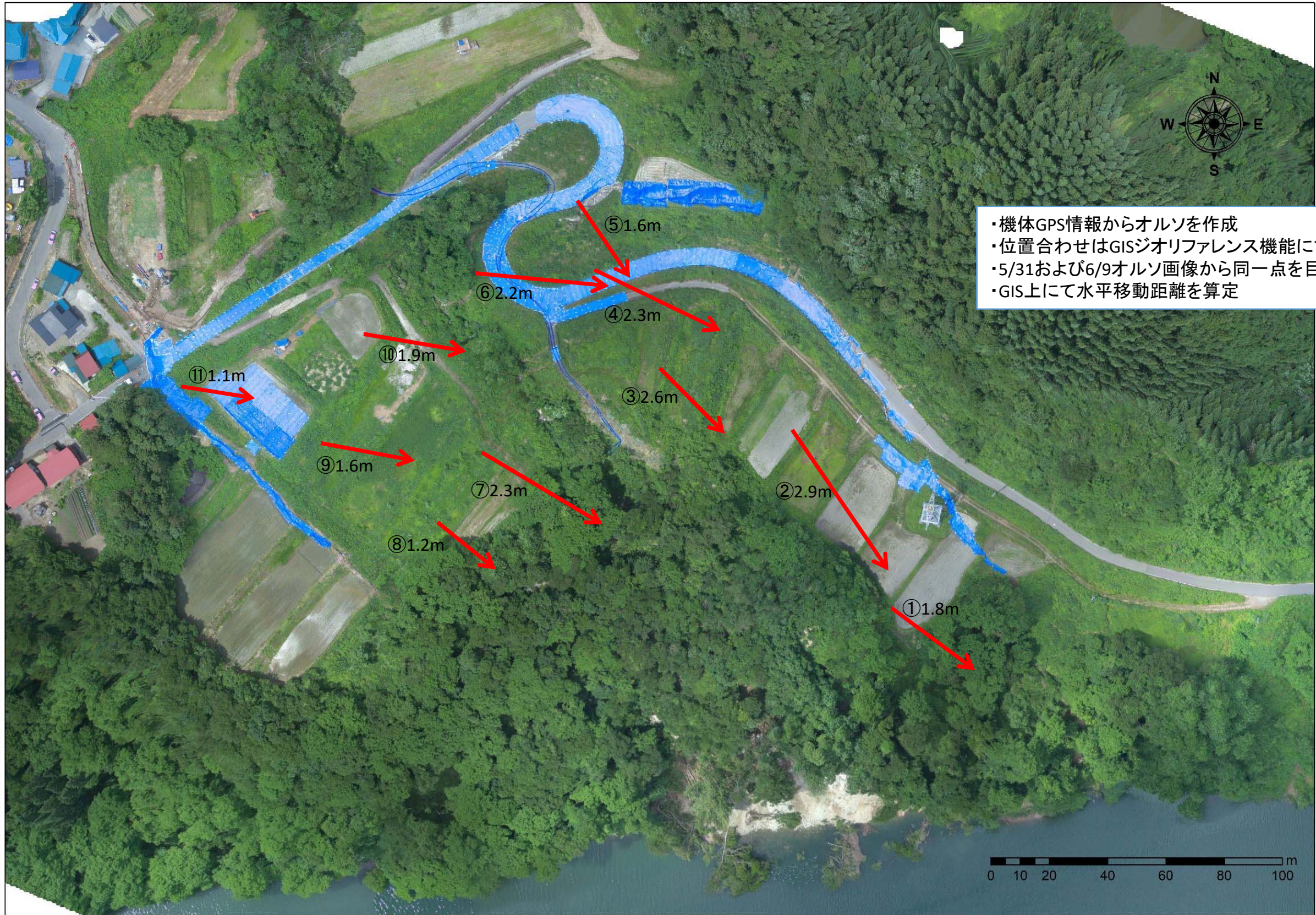
- ・機体 GPS 情報からオルソを作成
- ・位置合わせは GIS ジオリファレンス機能にて実施
- ・5/31 および 6/9 オルソ画像から同一点を目視にて抽出
- ・GIS 上にて水平移動距離を算定

1.1 解析結果

図-1 に移動方向・移動量図を示す。

解析結果の概要は以下の通り。

- ・①の一番末端部に近い休耕田では移動量 1.8m、移動方向 N36° E となり、やや東側へ移動している。（画像のゆがみの影響も考えられるため、次回の撮影で検証が必要）
- ・②、③、⑤は概ね左側壁部のキレツと同一方向への移動が確認された。移動方向は、N50～60° E 方向であり、移動量は最大 2.9m 程度である。（概ね GPS 観測結果と同様）
- ・④は移動量 2.3m、移動方向 N26° E、移動量 2.3m であるが、やや東側へ移動している。
- ・頭部付近中央から西側の⑥、⑨、⑩、⑪の移動方向は、N10° E 方向であり、移動量は 1.1～2.2m 程度である（概ね GPS 観測結果と同様）。移動が活発な東側ほど移動量が大きく、伸縮計設置位置付近が 1.1m と最も少ない。地すべり東側の活発な滑動の影響で、西側が引っ張られている可能性がある。
- ・地すべり西側中腹部に位置する⑦、⑧の移動方向は、N30～40° E 方向であり、頭部に比べやや南側へ遷移している。移動量は⑦が 2.3m、⑧が 1.2m と、西側の頭部付近と同様に、東側ほど大きい。



・機体GPS情報からオルソを作成
・位置合わせはGISジオリファレンス機能にて実施
・5/31および6/9オルソ画像から同一点を目視にて抽出
・GIS上にて水平移動距離を算定

0 10 20 40 60 80 100 m